

宗像市読書のまちづくり推進計画

後期計画（令和2年度～令和6年度）

宗像市教育委員会

ご挨拶



読書活動は、言葉や知識を学び、感性を磨き、表現力や創造力を豊かなものにし、人生をより深く生きる力を身につけていくうえで大切なものです。読書の質である読み解く力、要約する力、わかりやすくまとめて伝える力などの読解力向上を目指した能動的な読書は乳幼児期からの読書習慣の形成が基盤となります。

本市では、平成 28 年 3 月に「読書でかがやく未来を築くまち」を基本理念とした宗像市読書のまちづくり推進計画を策定し、家庭、学校、地域が協働で読書環境づくりに努め、読書活動を通じて共に学び合い高め合うことで、文化的でかがやかしいまちを育むことができるよう、読書活動を推進してきました。

毎年 11 月を「宗像市読書月間」に設定し、市民図書館が中心となって、情報交換、連携や支援をしながら、家庭、学校、地域それぞれの場所で読書のまちづくりへ向けて取り組みました。また、平成 30 年には、えほんのへや（宗像市民図書館久原分室）開室 10 周年、宗像ユリックス図書館（宗像市民図書館中央館）開館 30 周年事業を読書ボランティア団体や市民団体等と協働で行い、多くの市民が図書館を中心に集まり、賑わいの空間を創り出しました。

本との出会いの場をつくる上で、読書推進ボランティアは重要なパートナーです。そのため、読書推進ボランティアの養成や支援、協働による事業も効果的に実施してきました。

これまで、この計画に沿って単年度ごとに実施計画を設定し、着実に推進してきましたが、中間となる今年度、前期の成果や取組み内容等を検証するとともに、社会情勢の変化を踏まえ、より具体的で実効性のある内容となるよう計画の見直しを行いました。

今後も、子どもの読書活動の推進に力点を置きつつ、市民一人ひとりが、いつでもどこでも楽しく自主的に読書活動を行うことができる環境づくりに努め、積極的に読書活動を推進します。また、この活動を支える人を育て支援し、読書を通じた地域づくりを目指します。

宗像市教育長

高宮史郎

目次

1 計画見直しの背景と基本的な考え方	1
2 計画の位置づけと期間	1
宗像市読書のまちづくり推進計画体系表	2
3 具体的な取組み	3
基本方針1 本は人生のパートナー	
（1）乳幼児期の取組み	3
（2）小・中学生期の取組み	5
（3）高校生期から大人への取組み	7
基本方針2 読書がつなぐ市民の輪	
（1）地域との連携	9
（2）関係機関や団体との連携・協力	11
基本方針3 読書と学びを支える図書館	
（1）学校図書館の充実	13
（2）市民図書館サービスの充実	16
（3）適切な図書館運営	19
4 目標指標	21
5 計画の推進体制と進行管理	22
巻末資料	
用語解説	25
宗像市民図書館協議会委員名簿	27

1 計画見直しの背景と基本的な考え方

本市では、市民の読書活動を総合的に推進することを目的に、平成 28 年 3 月「宗像市読書のまちづくり推進計画」（計画期間平成 28～36 年度）を策定しました。

次ページの「計画体系表」に示すとおり、目標達成のために具体的な取組みを掲げ、着実な推進を図るため単年度ごとに実施計画を設定し、適切な進行管理に努めました。

計画期間 9 年間のうち、中間となる令和元年度にこれまでの成果や取組み内容、課題等を検証するとともに、社会情勢の変化等を踏まえ、より具体的で実効性のある内容となるよう計画の推進について見直しを行いました。また、計画策定時に示した目標指標について、平成 30 年度の数値結果をもとに、令和 6 年度の目標指数を見直しました。

今後は、厳しい財政状況の下、より効率的な施設運営と市民サービスの向上、読書を通じた地域づくりを目指すため、前期で培った基盤を元に、引き続き司書*を中心に推進計画の基本理念の実現を目指します。

2 計画の位置づけと期間

この計画は、「図書館法」及び「学校図書館法」、「子どもの読書活動の推進に関する法律」、「文字・活字文化振興法」、「学校教育法」、「読書バリアフリー法*」に基づき策定するものです。

あわせて、平成 27 年度から 10 年間のまちづくりの指針を示す「第 2 次宗像市総合計画」を上位計画とし、関連する他の計画との整合性を図るものとします。

本後期計画の期間は、令和 2 年度から令和 6 年度までの 5 年間とします。

(参考) 関連計画の実施期間一覧

H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
第 2 次宗像市総合計画								
宗像市教育大綱		宗像市教育大綱				宗像市教育大綱		
宗像市読書のまちづくり推進計画								
宗像市子ども・子育て支援事業計画				第 2 期宗像市子ども・子育て支援事業計画				
宗像市学校教育基本計画								
宗像市市民活動推進プラン				参加・参画・協働による魅力あるまちづくりの基本指針				

内の計画は令和 2 年度 3 月時点の予定

宗像市読書のまちづくり推進計画体系表

基本理念

読書でかがやく未来を築くまち

基本方針

1 本は人生のパートナー

ライフステージに応じた読書活動の推進と環境づくり

乳幼児期の取組み

- 1 絵本やわらべうたで子育てしませんか
- 2 せんせい絵本いっぱい読んでね
～保育所・幼稚園・認定こども園における環境づくり
- 3 絵本となかよしになろう
- 4 子どもと一緒に図書館へ行きましょう

小・中学生期の取組み

- 5 朝読（あさどく）と家読（うちどく）で本の世界を楽しもう
- 6 本の楽しさ届けます ～保護者や読書ボランティアとの連携

高校生期から大人への取組み

- 7 本から学ぼう ～高校生の読書推進
- 8 図書館をより深く知ろう ～大学との連携
- 9 イベントを楽しみましょう
- 10 バリアフリーな読書環境をつくります

2 読書がたなぐ市民の輪

市民協働による読書活動の推進

地域との連携

- 11 身近な施設で本と出合いましょう
～コミュニティ・センターでの読書活動の推進
- 12 読書の楽しさ共有しましょう
- 13 みんなで読もう「読書月間」

関係機関や団体との連携・協力

- 14 ボランティア活動を学びませんか
～読書推進ボランティアの育成・支援
- 15 連携しましょう～関係機関や読書推進ボランティアとの連携
- 16 大島、地島で読書活動をすすめてみましょう
- 17 民活（みんかつ）で図書館サービスを広げます

3 読書と学びを支える図書館

図書館サービスの充実と環境の整備

学校図書館の充実

- 18 学校図書館を活かそう
- 19 教職員のスキルアップ事業に取り組みます
- 20 公共図書館と連携をすすめます
- 21 役に立つ学校図書館づくりをすすめます
- 22 学校図書館の効果的・効率的な管理運営に取り組みます

市民図書館サービスの充実

- 23 身近な施設に図書館サービスを広げます
- 24 配本システムを活用します
- 25 ICTを活用したサービスをすすめます
- 26 図書館から情報発信します
- 27 市民ニーズに応えることができる情報を整えます
- 28 レファレンスサービスを上手に使いましょう

適切な図書館運営

- 29 図書館の効果的・効率的な管理運営に取り組みます
- 30 図書館を安全・快適に整備します

3 具体的な取組み

基本方針1 本は人生のパートナー

ライフステージ*に応じた読書活動の推進と環境づくり

(1) 乳幼児期の取組み

No	事業名・概要	取組み
1	絵本やわらべうたで子育てしませんか ブックスタート*事業を充実させるとともに、親子のコミュニケーションに有効で、子どもの心と言葉を育てる絵本の読み聞かせや、わらべうたの普及を目指します。	<ul style="list-style-type: none">・妊婦さんのおはなし会・ブックスタート・おはなし会・子育て支援センターとの連携事業
2	せんせい絵本いっぱい読んでね ～保育所・幼稚園・認定こども園における環境づくり 人格の基礎が形成される乳幼児期に、子どもの保育や教育に携わる保育所・幼稚園・認定こども園で、絵本に親しむための取組みを実施します。	<ul style="list-style-type: none">・市内保育所・幼稚園・認定こども園への貸出・読み聞かせに関する研修会など
3	絵本となかよしになろう 乳幼児と保護者が絵本を身近なものと感じ、日常生活の中に絵本の読み聞かせが定着するよう、家庭や地域での読書活動を支援します。	<ul style="list-style-type: none">・読書相談員の配置の継続(久原分室)・子育てサロンへの支援・こどもの読書週間企画・おすすめの絵本リスト作成
4	子どもと一緒に図書館へ行きましょう 子育て世代が何度も行きたくなる図書館サービスを提供します。	<ul style="list-style-type: none">・絵本の充実・児童サービスの充実

前期の成果

ブックスタートや乳幼児の発達段階に応じたおはなし会で、えほんの読み聞かせやわらべうたを通して親子のふれあいを支援しました。妊婦とその家族の利便性に配慮し、月1回開催の「妊婦さんのおはなし会」を廃止し、毎週開催の「赤ちゃんのおはなし会」の参加に変更しました。おはなし会でわらべうたあそびを体験した後に、赤ちゃんとメディアとの関わり方や絵本の読み聞かせについて説明し、参加者からこれからの子育てに取り入れたいと感想をいただくことができました。

市民図書館の図書をはじめ、大型絵本や「絵本セット」などの団体貸出を実施しました。また、保育所・幼稚園・認定こども園支援のため乳幼児期の読書やわらべうたについての講演会を実施しました。

久原分室に読書相談員を配置、子育てサロンに団体貸出を実施、ボランティアと協働でこどもの読書週間の周知、おすすめ絵本リスト作成などを通して、家庭や地域での読書活動を支援しました。読書相談員を配置することで、乳幼児の保護者からの絵本についての相談や質問に迅速に対応することができました。

絵本の除籍・買替及び発達段階に応じた新刊絵本の購入を行い、蔵書を更新しました。

今後の課題

子育て支援センターと連携し、乳幼児の保護者への啓発を強化
保育所・幼稚園・認定こども園での読書活動を支援する取組み
読書相談員の不在時に、利用者の質問に対応できる体制
継続的な絵本の蔵書更新

No	後期の取組み
1	<ul style="list-style-type: none">・ブックスタート・おはなし会・子育て支援センターとの連携
2	<ul style="list-style-type: none">・市内保育所・幼稚園・認定こども園への乳幼児の読書活動に関する情報提供 ★わらべうたや読み聞かせに関する研修会など
3	<ul style="list-style-type: none">・久原分室に読書相談員を配置・子育てサロンへの情報提供や支援・こどもの読書週間企画・おすすめの絵本リスト作成
4	<ul style="list-style-type: none">・絵本の充実・児童サービスの充実

★は後期の新規事業

(2) 小・中学生期の取組み

No	事業名・概要	取組み
5	<p>朝読*（あさどく）と家読*（うちどく）で本の世界を楽しもう</p> <p>家読（家庭での読書活動）を推進することにより、読書習慣の形成を図ります。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・朝読事業 ・家読事業 ・おすすめの本のリスト作成
6	<p>本の楽しさ届けます ～保護者や読書推進ボランティアとの連携</p> <p>小・中学校で絵本の読み聞かせなどの活動を行っている保護者や読書推進ボランティアと連携し、児童生徒に読書の楽しさを伝え、読書活動を推進します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・読書推進ボランティアへの支援 ・講演会、研修会など



小学生・中学生へのおすすめの本リスト

前期の成果

小・中・義務教育学校において、朝読を実施するとともに、小・中学生向けにおすすめ本リストを配布し、各学校で活用しました。小学校での朝読の時間には、担任の先生や上級生が読み聞かせをしたり、長い物語を数日間にわたり朗読したりして、読書への興味をひく工夫がみられました。中学校での朝読の時間は、学校司書*によるブックトークや、図書（文化）委員による啓発などで、充実した活動となりました。

読書推進ボランティアへの支援として、フォローアップのための講座や講演会を実施し、学校や地域での読書活動の幅を広げました。また、小学生から参加できる講演会に児童文学作家を招聘し、児童生徒の読書活動を推進しました。

今後の課題

学校での朝読の継続と家庭での家読の推進

児童生徒の読書活動について児童生徒と保護者に啓発

No	後期の取組み
5	<ul style="list-style-type: none">・朝読事業★家読事業・おすすめの本のリスト更新・周知
6	<ul style="list-style-type: none">・読書推進ボランティアへの支援・講演会、研修会の開催

★は後期の新規事業



小学校で読み聞かせをする読書推進ボランティア

(3) 高校生期から大人への取組み

No	事業名・概要	取組み
7	<p>本から学ぼう ～高校生の読書推進</p> <p>市内の高校と協力して、高校生の読書力を高める活動を支援します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・高校図書館との情報交換 ・ヤングアダルトコーナー*設置 ・おすすめの本のリスト作成
8	<p>図書館をより深く知ろう ～大学との連携</p> <p>市内の大学において市民図書館の認知度を高めるとともに図書館の機能を伝え、学生が読書活動に取り組めるよう支援します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・大学図書館との相互貸借(物流システム) ・大学との連携授業 ・大学との連携講座、イベント ・図書館実習の受け入れ ・図書館事業への学生ボランティア参画
9	<p>イベントを楽しみましょう</p> <p>市民の学習意欲や読書に対する関心を高め、新たな活動に取り組むきっかけづくりとして、講演会や講座などの事業の充実に努めます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・作家の講演会の開催 ・利用者の興味や社会の動きに応じた行事の開催 ・市民活動の発表の場としてのスペースの活用 ・利用者参加型企画の充実 ・図書館まつりの充実
10	<p>バリアフリー*な読書環境をつくります</p> <p>高齢者や障がいのある方が本に親しみ、快適に図書館を利用できるよう、読書環境の整備に努めます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・大活字本*などの購入 ・拡大読書器*の設置 ・本の宅配サービス



児童文学作家の講演会

前期の成果

市内 2 高校の図書館を訪問し、学校司書と情報交換を行いました。また、高校生へのおすすめ本リストを作成し、高校図書館に配布、市民図書館のヤングアダルトコーナーでおすすめ本を紹介しました。

市内大学図書館との相互貸借（物流システム）を実施して資料提供サービスの充実に努めました。福岡教育大学の司書教諭*養成講座での授業実施、図書館事業における学生ボランティア受入を行い、大学との連携を深めました。日本赤十字九州国際看護大学図書館との連携では、市民図書館で開催したビブリオバトル*への学生の参加による交流がうまれました。

市民の読書活動を促進するため、作家の講演会や利用者参加型イベントを実施しました。また、図書館まつりやイベントに合わせて、パンのマルシェや健康相談などを実施し、図書館になじみのない市民の来館につなげました。

高齢者や障がいのある市民に配慮した大活字本や LL*ブックの購入、電子図書館*サービスの導入により、読書環境の整備に努めました。

今後の課題

高校生の読書活動を支援する取組み

大学との連携講座・イベントの実施

市民の読書への関心を高めるための事業

本の宅配サービスについて検討

No	後期の取組み
7	<ul style="list-style-type: none">・高校図書館との情報交換・ヤングアダルトコーナーの資料の充実・おすすめの本のリスト更新・周知
8	<ul style="list-style-type: none">・物流システムによる大学図書館との相互貸借・大学との連携授業・講座・イベント★福岡教育大学ボランティアサポートシステムを活用した学生ボランティア募集
9	<ul style="list-style-type: none">・講演会・利用者の興味や社会の動きに応じた行事の開催・市民活動の発表の場としてのスペースの活用・利用者参加型企画の実施・図書館まつりの充実
10	<ul style="list-style-type: none">・大活字本・LLブックなどの購入★本の宅配サービスの検討・電子図書館サービスの周知

★は後期の新規事業

基本方針 2 読書がつなぐ市民の輪

市民協働による読書活動の推進

(1) 地域との連携

No	事業名・概要	取組み
11	身近な施設で本と出合いましょう ～コミュニティ・センターでの読書活動の推進 市民に最も身近な公共施設で市民活動、地域活動の拠点でもあるコミュニティ・センターで読書活動を推進します。	<ul style="list-style-type: none">・連携事業の開催・子育てサロンへの読書活動支援
12	読書の楽しさ共有しましょう 個人的に楽しむ読書から楽しみを共有する読書へ進める取組みを実施します。	<ul style="list-style-type: none">・本の情報交換会・おすすめの本の情報交換
13	みんなで読もう「読書月間」 読書活動の普及啓発を図り市民の参画を推進するため、「読書月間」を設定し、学校や地域と連携して事業に取り組みます。	<ul style="list-style-type: none">・「読書月間」の設定

前期の成果

河東地区コミュニティ・センターと連携し、歴史人物講演会を開催したり、まつりに参加したりしました。講演会のテーマにあわせて河東地区コミュニティ・センター内の須恵分館で図書を展示し、利用者が手に取る様子もみられました。

子育てサロンへの団体貸出を実施するとともに、絵本に関する相談に個別対応しました。

読書の楽しさを共有する企画として、「本の屋台*」「本のお中元」「ビブリオバトル」などを実施しました。また、市内大学で開催されたビブリオバトルへの市民参加を呼びかけました。図書館でのイベントを機に、市民によるビブリオバトルを推進する団体が発足し、市内での活動を展開しています。

11月を「読書月間」に設定し、期間中にイベントを開催しました。月間の周知を図るとともに、市民の読書活動を推進しました。

今後の課題

コミュニティ・センターとの連携による読書活動の推進

読書の楽しさを共有する取組み

読書活動の普及啓発のため、読書月間を周知

No	後期の取組み
11	<ul style="list-style-type: none">・コミュニティ・センターでの読書推進に係る連携事業の開催・子育てサロンへの読書活動支援
12	<ul style="list-style-type: none">・ビブリオバトル実施・読書の楽しさを共有できるイベント
13	<ul style="list-style-type: none">・読書月間の周知・学校や地域との連携による読書月間行事の実施



ビブリオバトルで本を紹介する様子

(2) 関係機関や団体との連携・協力

No	事業名・概要	取組み
14	<p>ボランティア活動を学びませんか ～読書推進ボランティアの育成・支援</p> <p>市内における読書活動を継続的に発展させるため、読書推進ボランティアを育成・支援します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティア養成講座 ・フォローアップ講座 ・活動の場の提供
15	<p>連携しましょう ～関係機関や読書推進ボランティアとの連携</p> <p>読書活動への市民の参画を図るため、読書活動に関わる関係機関や読書推進ボランティアとの連携を拡大します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・読書推進ボランティアの活動推進 ・読書推進ボランティア連絡会
16	<p>大島、地島で読書活動をすすめましょう</p> <p>市民サービス協働化提案制度により住民で構成された団体への協働委託を引き続き行い、大島、地島での読書活動を推進します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・大島読書支援事業 ・地島読書支援事業
17	<p>民活*（みんかつ）で図書館サービスを広げます</p> <p>民間事業者との協力による事業を展開します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・雑誌スポンサー制度* ・事業の開催

前期の成果

読み聞かせや理科読*、本の補修などさまざまなボランティアを養成し、定期的にフォローアップ講座を開催しました。また、ボランティア活動を希望する市民に、既存の団体を紹介するなど、活動の場を提供しました。理科読ボランティア風ぐるまは、図書館のイベント時だけでなく市内外の小学校で理科読を実践するなど、活動の幅を広げています。

ボランティア連絡会を年2回開催し、おすすめ本や会員募集方法などの情報交換を行い、読書推進ボランティア間の連携を深めました。市内大学図書館とも連携し、大学図書館主催のイベントへの市民参加や、市民図書館主催イベントへの学生参加ができるようになりました。

大島と地島では住民で構成された団体との協働委託により、島内に設置している市民図書館コーナーを運営し、読書活動を推進しました。市民図書館コーナーの図書を選ぶ際に、これまでよりも住民の意見を反映できるようになりました。地島では、図書課職員による小学生への読書支援の際に、幼稚園児への読み聞かせを実施しています。

雑誌スポンサー制度を実施し、図書館サービスの拡充に努めました。また、パンのマルシェやピアノ演奏会など、民間事業者との協力による事業を展開しました。

今後の課題

読書推進ボランティアの継続的な育成・支援

ボランティア連絡会の内容や開催日の見直し

大島、地島での読書活動の推進

民間事業者との連携による読書活動の推進

No	後期の取組み
14	<ul style="list-style-type: none">・ボランティア養成講座・フォローアップ講座・活動の場の提供
15	<ul style="list-style-type: none">・読書推進ボランティアの活動推進・読書推進ボランティア連絡会
16	<ul style="list-style-type: none">・大島読書支援事業・地島読書支援事業
17	<ul style="list-style-type: none">・雑誌スポンサー制度・民間事業者との協力による事業の展開

基本方針 3 読書と学びを支える図書館

図書館サービスの充実と環境の整備

(1) 学校図書館の充実

No	事業名・概要	取組み
18	<p>学校図書館を活かそう</p> <p>児童生徒が本に親しみ、「読む力」と「調べる力」を身に付け、自主的に読書や調べ学習を行うことができるよう、学校図書館活動の充実を図ります。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学校図書館を活用した授業の充実 ・「図書の日」の計画的実施 ・校内における読書活動の推進 ・図書館だよりなどによる広報活動 ・地島小学校への読書支援
19	<p>教職員のスキルアップ事業に取り組みます</p> <p>学校での教育活動において、学校図書館を計画的・継続的に利活用する人材を育成します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学校司書研修会 ・図書館教育担当者研修会 ・教諭と学校司書による連携授業
20	<p>公共図書館と連携をすすめます</p> <p>資料貸借（物流システム）を推進し、児童生徒の読書活動、学習活動及び教職員の教育活動を支援します。また、児童生徒向け事業を通じ、自ら本の楽しさや大切さを発信、啓発する仕組みを構築します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・資料貸借（物流システム）* ・調べる学習コンクール*の充実 ・小学生読書リーダー養成事業 ・中学生読書サポーター養成事業 ・調べ学習支援コーナーの設置 ・市民図書館利用ガイド配布 ・図書館見学・実習への対応
21	<p>役に立つ学校図書館づくりをすすめます</p> <p>児童生徒が読書を楽しむとともに、学習で本を有効に活用できるよう、読書センター、学習センター、情報センターとしての機能を持った学校図書館を整備します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・資料購入費の確保 ・読書活動や調べ学習に対応できる資料の充実 ・学校司書の継続配置 ・調べ学習用パソコンの整備
22	<p>学校図書館の効果的・効率的な管理運営に取り組みます</p> <p>地域の実情を考慮しながら、学校における読書活動のさらなる活性化を目指し、学校図書館の運営体制の充実を図っていきます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学校図書館の段階的な地域開放 ・宗像市民図書館協議会

前期の成果

学習単元に必要な資料を、購入や資料貸借により収集し、授業で活用しました。「図書の時間」に学校司書が読み聞かせやブックトーク、資料の探し方や使い方の説明などを行って読書及び調べ学習を支援しました。さらに各学校では、学校司書を中心に図書（文化）委員会の児童生徒とともにさまざまな図書館行事を行い、積極的に読書活動を推進しました。学校司書は図書館だよりを児童生徒及び教師向けにそれぞれ発行して読書活動や図書館活動への啓発を行うとともに、掲示や展示を行って多くの資料を紹介しました。

図書課では、毎月1回（夏休み期間を除く）、地島小学校を訪問し読書支援を行いました。

毎年テーマを決めて学校司書研修会を実施し、スキルアップを図りました。また、学校図書館活動に造詣の深い講師を招聘し、図書館教育担当者（おもに司書教諭）及び学校司書向けに毎年研修会を実施して図書館活動への啓発を図りました。さらに、教諭と学校司書が連携して授業に取り組み、その指導略案を冊子にまとめ配布しました。

学校図書館と公共図書館の連携をすすめました。（以下、連携内容）

- ・資料貸借を実施して資料の有効活用を図るとともに学習を支援
- ・調べる学習コンクールを開催し、児童生徒のアクティブ・ラーニング*を推進
- ・「小学生読書リーダー養成講座」を開催し、各学校で読書推進活動を実施
- ・「中学生読書サポーター養成講座」を開催し、各学校で読書推進活動を実施
- ・市民図書館利用ガイドを改訂し、市内小・中学校に配布
- ・市内小学校からの図書館見学に随時対応、市職場体験事業ワクワクWORKで中学生を受入
民間企業の助成金や寄附金を活用し、資料購入費の確保に努めました。内容が古くなった図書資料を積極的に除籍し、新たに読書活動や調べ学習に対応できる資料を購入しました。

地島小学校を除く市立学校に学校司書を配置し、学校図書館の活性化を図りました。

平成29年に民間企業の助成金を活用し、市立学校に調べ学習用パソコンを整備しました。

学校図書館の運営について図書館協議会に諮り、効率的・効果的な管理運営に努めました。

今後の課題

学校図書館教育全体計画及び学校図書館活用計画の確実な実施

学校図書館を計画的・継続的に利活用する教職員の育成

児童生徒が自ら読書活動を啓発する仕組みの構築

市立学校に学校司書の継続配置

学校図書館の地域開放について検討

No	後期の取組み
18	<ul style="list-style-type: none"> ・学校図書館を活用した授業の充実 ・学校図書館の計画的利用 ・校内における読書活動の推進 ・図書館だよりなどによる広報活動 ・地島小学校への読書支援
19	<ul style="list-style-type: none"> ・学校司書研修会 ・図書館教育担当者研修会 ・教諭と学校司書による連携授業
20	<ul style="list-style-type: none"> ・物流システムによる資料貸借 ・調べる学習コンクールの充実 ・小学生読書リーダー養成事業 ・中学生読書サポーター養成事業 ・児童生徒による情報発信
21	<ul style="list-style-type: none"> ・資料購入費の確保 ・読書活動や調べ学習に対応できる資料の充実 ・学校司書の継続配置
22	<ul style="list-style-type: none"> ★学校図書館の段階的な地域開放について検討 ・宗像市民図書館協議会

★は後期の新規事業



読書サポーターが活躍する学校図書館

(2) 市民図書館サービスの充実

No	事業名・概要	取組み
23	<p>身近な施設に図書館サービスを広げます</p> <p>市民の誰もが、いつでもどこでも本に親しめる環境を整備するため、コミュニティ・センターにおける図書館サービスの拡大を図ります。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・サービス拠点の整備推進 ・本の返却ポスト設置 ・コミュニティ・センターにおける市民図書館資料の貸出・返却サービスの拡大
24	<p>配本システム*を活用します</p> <p>図書館の各種配本システムを活用し、市民の読書環境の充実に努めます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・配本システムの推進 ・大学図書館との相互貸借（再掲） ・県内図書館相互貸借 ・県立図書館遠隔地貸出・返却サービス*
25	<p>I C T*を活用したサービスをすすめます</p> <p>市民がより早く適切に情報を入手できるよう、図書館内におけるインターネット利用などのI C T環境の充実に努めます。また、電子書籍の導入について検討します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・公衆無線LAN環境*の整備 ・インターネットサービスの充実 ・情報視聴コーナーの設置 ・電子図書館導入
26	<p>図書館から情報発信します</p> <p>ホームページやチラシ、市広報紙などを活用し、図書館のさまざまなサービスや読書活動に関する情報を積極的に発信します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・図書館ホームページの充実 ・読書活動情報の発信 ・図書館だよりなどの作成と配布
27	<p>市民ニーズに応えることができる情報を整えます</p> <p>市民の読書支援、生涯学習、生活情報入手の拠点施設として、幅広く資料を収集するとともに、読書のまちにふさわしい機能を持つ環境を整備します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・資料購入費の確保 ・計画的な蔵書構築 ・地域情報や市のユネスコ世界文化遺産登録関連資料の収集と提供
28	<p>レファレンスサービス*を上手に使いましょう</p> <p>市民が求めている情報や相談に対応するため、レファレンスサービスの向上と利用促進に努めます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・レファレンス資料の充実 ・レファレンスサービスの向上と周知

前期の成果

自由ヶ丘及び赤間地区コミュニティ・センターにおける貸出・返却サービス、池野・岬・吉武地区コミュニティ・センターでの返却サービスの周知を図りました。新たにサンリブくりえいと宗像に本の返却ポストを設置しました。

市民図書館中央館と分館間、自由ヶ丘・赤間地区コミュニティ・センター、大島、地島、市内2 大学図書館間の配本システム及び県内図書館相互貸借、県立図書館遠隔地貸出・返却サービスを行い市民の読書環境の充実に努めました。

中央館に公衆無線 LAN 環境を整備し、情報視聴コーナーにインターネットを利用できるパソコン 10 台を助成金を活用し設置しました。助成金を活用し、電子図書館サービスを開始しました。図書館内でのインターネット用パソコンの利用は多く、令和元年 10 月に開始した電子図書館サービスも利用者が増えています。

ホームページやチラシ、市広報紙、図書館だよりなどを活用し、図書館のさまざまなサービスや読書活動に関する情報を発信しました。

資料購入費を確保するため、助成金や広告宣伝料収入、寄附金を活用しました。また、新刊購入や古い資料の除籍を行い、適正な蔵書構築に努めました。さらに中央館では地域情報を、深田分館では世界遺産関連資料を重点的に収集し、利用者に提供しました。

計画的にレファレンス資料を購入しました。広報紙等でレファレンスサービスの周知に努め、依頼があったレファレンスに迅速に対応しました。さらに国立国会図書館レファレンス協同データベース*事業に参加し、サービスの充実に努めました。

今後の課題

市民に身近な施設での図書館資料の貸出・返却サービスの展開

各種配本システムの継続

図書館内の ICT 環境の充実及び電子図書館サービスの充実

図書館サービスや読書活動に関する情報提供

市民への情報提供及び環境の整備

レファレンスサービスの周知を強化



インターネット用パソコンを設置した情報視聴コーナー

No	後期の取組み
23	<ul style="list-style-type: none"> ・ サービス拠点の整備推進 ・ 身近な施設での図書館資料の貸出・返却サービス展開
24	<ul style="list-style-type: none"> ・ 配本システムの推進 ・ 大学図書館との相互貸借 ・ 県内図書館相互貸借 ・ 県立図書館遠隔地貸出・返却サービス
25	<ul style="list-style-type: none"> ・ 図書館内 ICT 環境の充実 ・ 電子図書館サービスの充実
26	<ul style="list-style-type: none"> ・ 図書館ホームページの充実 ・ 読書活動情報の発信 ・ 図書館だよりなどの作成と配布
27	<ul style="list-style-type: none"> ・ 資料購入費の確保 ・ 計画的な蔵書構築 ・ 地域情報や市のユネスコ世界文化遺産登録関連資料の収集と提供
28	<ul style="list-style-type: none"> ・ レファレンス資料の充実 ・ レファレンスサービスの向上と周知

(3) 適切な図書館運営

No	事業名・概要	取組み
29	<p>図書館の効果的・効率的な管理運営に取り組みます</p> <p>読書環境を充実させるため、図書館に対する市民ニーズや地域の特性をふまえながら、効果的・効率的な図書館運営に取り組んでいきます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 来館者アンケート及びサービス向上に向けた調査研究及び実施 ・ 宗像市民図書館協議会 ・ 窓口業務委託
30	<p>図書館を安全・快適に整備します</p> <p>市民に快適な読書環境を提供し図書館の機能向上を図るため、施設の改修を宗像市公共施設アセットマネジメント推進計画*に沿って適宜行います。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 計画的な施設及び設備の改修

前期の成果

市民図書館の運営について図書館協議会に諮り、効率的・効果的な管理運営に努めました。また、効率的な図書館運営のため業務内容を精査して窓口業務を委託しました。

書架の修繕や椅子の貼り替え等、施設及び設備の改修を行いました。

来館者アンケートでは、図書館職員の対応に「満足」「やや満足」と回答した割合が 82.6%、館内の居心地に「満足」「やや満足」と回答した割合が 79.2%、全体的な満足度に「満足」「やや満足」と回答した割合が 77.8%と高い数値を示しました。

今後の課題

図書館への市民ニーズ把握及びサービスの展開

計画的な施設や設備の改修

No	後期の取組み
29	<ul style="list-style-type: none">・ 来館者アンケート及びサービス向上に向けた調査研究及び実施・ 宗像市民図書館協議会・ 窓口業務委託
30	<ul style="list-style-type: none">・ 計画的な施設及び設備の改修



修繕した椅子を設置した雑誌コーナー

4 目標指標

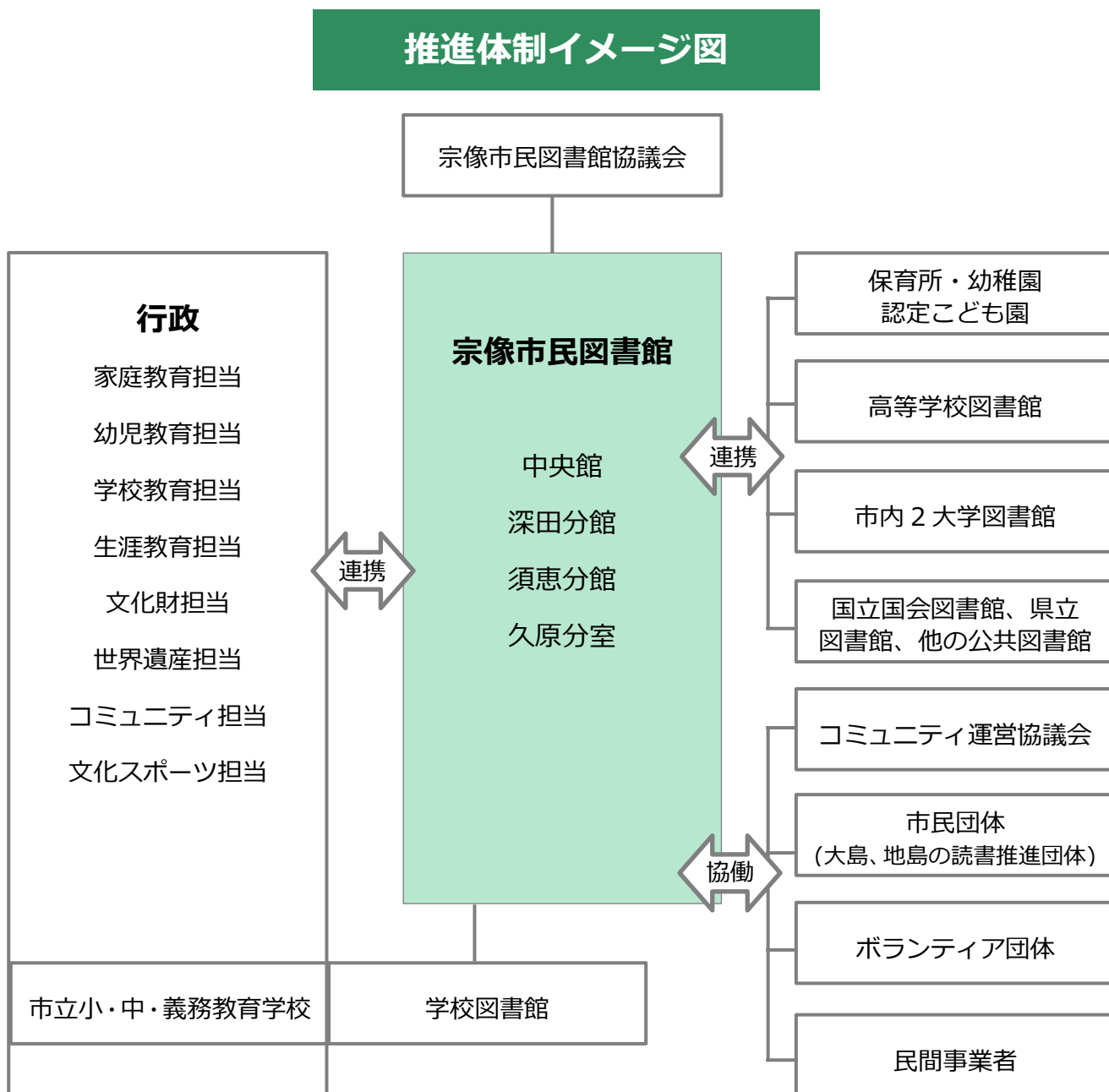
計画策定時に示した指標と、平成26年度・30年度の数値をもとに、令和6年度の目標指数を示します。

指標名・概要	平成26年度	平成30年度	令和6年度
おはなし会参加人数 市民図書館で実施するおはなし会の参加者数	3,718 人	4,039 人	4,000 人
家読（うちどく）実施校 市内小・中学校で、家読に取り組んだ学校数	－	－	21 校
読書が好きな児童生徒の割合 アンケートで「読書が好きですか」の設問に「好き」と回答した児童生徒の割合	73%	該当設問なし	80%
イベント参加者数 市民図書館で実施するイベントの参加者数	9,637 人	9,041 人	10,000 人
コミュニティ・センターでの連携事業開催数 コミュニティ運営協議会と連携して行ったイベントの開催数	4 回	3 回	6 回
読書推進ボランティア団体の活動回数 読書推進ボランティア団体によるおはなし会やイベントの開催数	202 回	190 回	230 回
「読書月間」の認知度 来館者アンケートにおいて宗像市の読書月間を知っていると回答した人の割合	－	－	20%
学校図書館活用時数 小・中学校の授業において図書館や資料を活用した年間時数	小：16 時間 中：6 時間	小：21 時間 中：9 時間	小：30 時間 中：10 時間
調べる学習コンクール参加率 市内小・中学校における児童生徒の「調べる学習コンクール」への参加率	小：25% 中：12%	小：26% 中：30%	小：35% 中：35%
学校図書館の蔵書更新率 新規受入れ図書冊数と除籍した図書冊数を合計して蔵書冊数で割った値	4.6%	5.3%	6.0%
学校司書の配置率 小・中・義務教育学校への学校司書配置の割合	95%	95%	95%
図書館利用者満足度 来館者アンケートにおいて図書館サービスの「全体的な満足度」について「満足」「やや満足」と答えた人の割合	68%	78%	80%
インターネットサービス登録率 宗像市民図書館利用カード登録者のうち、インターネットサービスに登録している人の割合	－	12%	25%
市民図書館の蔵書更新率 新規受入れ図書冊数と除籍した図書冊数を合計して蔵書冊数で割った値	5.9%	5.5%	7.0%

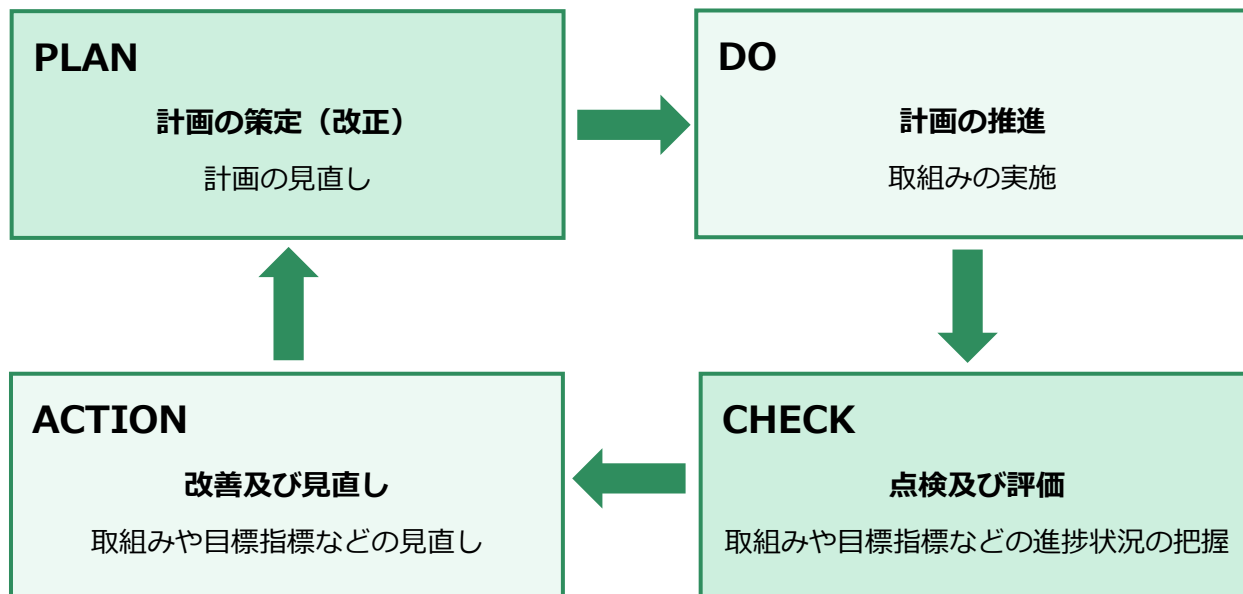
5 計画の推進体制と進行管理

この計画を推進するため下記の推進体制イメージ図のとおり、市民図書館が中心となって、情報交換、連携・支援を行いながら家庭、学校、地域それぞれの場所で具体的な取組みを実施していくことが大切です。

また、本計画の理念を実現させるため、市民ニーズの把握に努め、本市の総合計画や他の関連する計画との整合性を図りながら、基本方針に基づき各種施策を推進していきます。



この計画の着実な推進を図るため、宗像市民図書館協議会を活用するとともに、単年度ごとに実施計画を設定し、P D C Aサイクルを確立させ、目標指標をもとに適切な進行管理に努めます。



卷 末 資 料

用語解説

◆ア行

	用 語	解 説
ア	I C T (あいしーていー)	Information and Communication Technology (情報通信技術)の略で、通信技術を活用したコミュニケーション
	アクティブ・ラーニング	児童生徒が主体的・能動的に学ぶための授業や学習法の総称
	朝読 (あさどく)	「朝の読書」の略。学校の授業が始まる前の 10 分程度を利用して、児童生徒が好きな本を読む取組み
ウ	家読 (うちどく)	「家庭での読書」の略。読書を通して、家族がコミュニケーションを図る取組み
エ	L L (えるえる)	スウェーデン語の Lättläst (レットラスト) の略で、“やさしくてわかりやすい”という意味

◆カ行

	用 語	解 説
カ	拡大読書器	小さな文字を読むことのできない弱視者や高齢者のために文字を拡大する器具
	学校司書	学校図書館において、蔵書管理や学校図書館を活用した授業への支援などの業務を行う者
ケ	県立図書館遠隔地貸出・返却サービス	福岡県立図書館が所蔵している資料を利用者がインターネットから予約申し込みすることで、県内の最寄りの図書館などで受取・返却ができるサービス
コ	公衆無線 LAN 環境	無線通信によりインターネットが利用できる環境
	国立国会図書館レファレンス協同データベース	国立国会図書館が全国の図書館等と協同で構築する調べ物のための検索サービス

◆サ行

	用 語	解 説
サ	雑誌スポンサー制度	企業などが雑誌の購入費を負担し、その雑誌の最新号カバーにスポンサー名称と広告を掲載する制度
シ	司書	図書館法第 4 条で定められた、図書館の専門的事務に従事する職員
	司書教諭	学校図書館法第 5 条で定められた、学校図書館の専門的職務に従事する教諭
	調べる学習コンクール	図書館を活用した調べ学習の推進と児童生徒の自ら学ぶ力の育成を目的としたコンクール
	資料貸借 (物流システム)	学校図書館が、読書センター、学習センター、情報センターとして十分に機能するよう、市民図書館及び学校図書館資料の有効活用を図ることを目的に、配送車を市民図書館から市内各小・中学校に巡回させ、学校内で必要な資料の受け渡しを行うシステム

◆タ行

	用語	解説
タ	大活字本	視力の弱い方向けに、活字を大きくし行間を広くした図書
テ	電子図書館	インターネット経由で、デジタルデータで作成される出版物（電子書籍）を検索・貸出・返却できるウェブサイトによる図書館
ト	読書バリアフリー法	視覚等の障害の有無にかかわらず、すべての人が等しく読書を通じて、文字・活字文化からの恩恵を受けられる社会の実現を目指す「視覚障害者等の読書環境の整備の推進に関する法律」の通称

◆ハ行

	用語	解説
ハ	配本システム	分館やサービスポイントに予約された本などを配送するシステム
	バリアフリー	高齢者、障がい者などの日常生活で障害となるものを取り除くこと
ヒ	ビブリオバトル	本の紹介コミュニケーションゲーム
フ	ブックスタート	4か月児健診の際、赤ちゃんと保護者に、絵本を通じた親子のふれあいの大切さを伝え、絵本などの入った“ブックスタートパック”を手渡す
ホ	本の屋台	宗像市読書のまちづくり推進計画のキックオフ企画として製作した移動式の屋台で、イベントなどで活用するもの

◆マ行

	用語	解説
ミ	民活（みんかつ）	民間活力の略
ム	宗像市公共施設アセットマネジメント推進計画	将来人口、財政状況に応じた公共施設及び公共インフラの適正化方針及び年度別・施設別維持更新計画を示したもの

◆ヤ行

	用語	解説
ヤ	ヤングアダルトコーナー	主に10代の利用者を対象におすすめの本を集めたコーナー

◆ラ行

	用語	解説
ラ	ライフステージ	人生の一生における幼年期・児童期・青年期・壮年期・老年期などのそれぞれの段階のこと
リ	理科読（りかどく）	科学的読み物を読んで科学に親しみ、積極的に理科を学ぼうという趣旨の造語
レ	レファレンスサービス	利用者の求めに応じて、図書館職員が資料や情報を提供することにより、利用者を援助するサービス

宗像市民図書館協議会委員名簿

任期：平成 30 年 4 月 1 日～令和 2 年 3 月 31 日

区 分	氏 名	所 属
学校教育及び社会教育の関係者	藤 井 準 一	校長会代表（南郷小学校校長）
	野 本 俊 彦	校長会代表（中央中学校校長）
	牟 田 貴 美 子	自由ヶ丘地区コミュニティ運営協議会 青少年部会副部会長
	高 杉 洋 史	幼児教育代表（玄海ゆりの樹幼稚園）
家庭教育の向上に資する活動を行う者	高 屋 和 美	仲よし文庫代表
学識経験者	白 根 一 夫	元福岡女子短期大学教授
	河 内 祥 子	福岡教育大学准教授
市民代表	栗 山 佳 子	公募委員

令和2年3月

宗像市教育子ども部図書課

〒811-3437 福岡県宗像市久原 400 番地

TEL : 0940-34-2263 FAX : 0940-37-2956